



社会福祉法人

香川いのちの電話

通
信

第62号

相談電話

みみをかたむけなやみゼロ
087-833-7830

FAX相談

むつんでいちばんしみじみ
087-861-4343
(24時間年中無休)

みろく公園 写真提供 宮武則明

命をつなぐ

ほそかわクリニック院長 細川 二郎

精神科臨床に携わるようになり、20年余りの日々が過ぎました。その間に、自分が直接担当した患者さんでは、5名の方が自殺で命を落とされました。いままえば、いずれのケースにおいても死を予見できた可能性があったように思われます。しかし、その時点においては情けないことに、それを予見できるような患者さんの変化に全く気付かず、訃報に呆然としたものでした。

死の可能性が浮上し、それが治療のなかで逼迫した問題となり、そのことを巡って緊迫した治療場面を患者さんとともに乗り切ったことは何度もあります。しかし自殺による死は、私の場合、いずれもが「なぜ、今なのか？」という実に理不尽な体験として、いきなり目の前に立ち現れました。患者さんが絶望の淵で孤独のうちに死を迎えたことを思うと、何ともいえない無力感、やりきれなさを感じると同時に、何か置き去りにされたような孤独感が胸に広がります。死を直接連想させるようなそぶりのなかった、普段と変わらない別れ際の患者さんのイメージだけがそのまま残され、そこで時間は止まったままです。患者さんの死という現

実とのギャップを埋めることは容易ではありません。

私はつながっていると思っていたけれど、患者さんにはそのつながり自体、死の瞬間においては断ち切られたものになっていたに違いありません。死を選ぶ人は、人知れず死の道を歩むものであり、そこには絶望的な「世界との断絶」があります。そうなってしまう前に、どうすればつながりを回復できるのか？我々にはどうすることもできないのでしょうか？

しかし、今まさにつながりが失われようとしているその時に、患者さんとの関係を「いのちの電話」につなぎ止めてもらっていた瞬間は、これまで少なからずあったのではないかと思います。自分の未熟さを棚上げして無責任と自戒しつつも、こうしたセーフティネットの存在の必要性を、改めて自分の心に刻んでおく必要があると感じています。不幸にして命を落とされる人が一人でも多く救われるために、それだけでなく、命に関わる仕事をする人たちの心の支えとしても、この活動の意義は深いものがあると信じています。自分が微力ながらも「香川いのちの電話」の活動に協力していく意味は、ここにあるのかなと感じています。

寄付金の税額控除制度をご活用下さい

香川いのちの電話は、平成24年10月9日に香川県知事から税額控除対象法人の証明を受けました。

今年の10月9日以降、個人が香川いのちの電話へ寄付（後援会費含む）をすると確定申告で下記①の税額控除が受けられます。但し、寄付金の額の合計額は所得金額の40%、税額控除額は所得税額の25%相当額が限度です。また、住民税も同様に下記②の税額控除（税務署の確定申告のみで県・市の申告は不要）が受けられます。

なお、従来の所得控除下記③も選択出来ます。

①所得税額の控除額（寄付金額－2千円）×40%

②住民税額の控除額（寄付金額－2千円）×10%

※国税と地方税あわせて、寄付金の最大50%が税額から控除されます。

計算例

◆年収300万円の方が1万円寄付した場合4,000円が税額から控除

所得税（1万円－2千円）×40%＝3,200円

個人住民税（1万円－2千円）×10%＝800円 合計4,000円

※2万円寄付した場合は、9,000円が税額から控除されます。

③従来の所得控除の場合には

◆年収300万円の方が1万円寄付した場合（所得税5%）

所得税（1万円－2千円）×5%＝400円

住民税（1万円－2千円）×10%＝800円 合計1,200円

※2万円寄付した場合は、2,700円が控除されます。

所得控除と税額控除の違い

所得控除では、所得から所得控除額を差し引いた後に税率をかけて税額を算出します。これに対して税額控除では税率ではなく税額から税額控除額を差し引きます。このため小口の寄付にも減税効果が大きく、所得控除に比較してほとんどの場合、税額控除の方が減税効果が大きくなります。

「いのちの電話」はあなたのご支援を必要としています

いのちの電話の活動は、多くの善意あるボランティアの無償の奉仕によって支えられています。眠らぬダイヤルの施設維持費、相談員研修費、広報活動など、年間1千万円の資金が必要となっています。ボランティア活動である「いのちの電話」は、それを支える財政的基盤は大半が市民の、あるいは企業や諸団体からの寄付で支えられています。ひとりでも多くの方に資金ボランティアとして関わってくださいますよう、お願い申し上げます。

【後援会費】

- ・ 個人会費……年頭①2万円 ②1万円 ③5千円 ④2千円
- ・ 団体会員……年頭①10万円 ②5万円 ③3万円 ④1万円

【寄付金】 金額はご随意です。クリスマス、歳末など折にふれてご協力下さい。

<振込先>

社会福祉法人香川いのちの電話協会
理事長 小島 克己

《お振込みは下記のいずれかをご利用下さい》

- ・ 香川銀行本店（普）1389129
- ・ 高松信用金庫本店営業部（普）4821464
- ・ 百十四銀行本店（普）1473589
- ・ 郵便振替1600-5-9348

支援者を訪ねて

16

高松市社会福祉協議会
会長 氏部 隆 氏



—ご支援いただき有難うございます。協議会のことを教えて下さい。

高松市社会福祉協議会は、地域福祉の推進を目的とする社会福祉法人であり、誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりの推進を使命とする公共性・公益性の高い民間非営利団体です。

—いのちの電話とのかかわりについてお伺いしたいのですが。

「香川いのちの電話協会」の活動に微力ながら協力させていただいているのは、最近の家族関係の希薄化による社会的孤立や虐待等、また、失業や離職による経済的困窮等の新たな生活課題の中に、自殺者の増加という問題があり、自殺者を一人でも救おうという、「香川いのちの電話協会」の活動に共感するからです。

—自殺に対して何かご意見がございましたら……。

自殺問題への対応は、地域社会が抱える様々な問題の底流に潜む、生活課題や福祉課題への有効な対策の一つです。問題を抱えている当事者が支援策にたどり着けずに自殺に追い込まれることがないように、総合的な仕組みをいかに構築するかが問われています。

—そうですね。そこが大きな問題ですね。


高松市社会福祉協議会では、「住み慣れた地域や家庭で、安心して暮らし続けることができる地域福祉の新たな支え合い、たすけ合いの仕組みづくり」を基本方針とする「第2期地域福祉活動計画（平成24年度～平成28年度）」を策定し、高松市の「地域福祉計画」と相互に連携を図りながら、行政サービスだけでは解決できない地域の生活課題・福祉課題、制度の狭間の問題などに対して、地域福祉の推進にかかわる多くの地域住民や団体等の協力を得ながら、様々な問題の解決に当たってまいりたいと考えております。

—いのちの電話に対して何か望まれることは。

「香川いのちの電話協会」は、眠らぬダイヤル、「香川いのちの電話通信」の発行、公開講座の開催、電話相談員の募集・研修等、地道で大変な活動をされております。高松市社会福祉協議会としても、地域で活動されている福祉活動を行う団体との連携・協力は欠くことのできないものです。今後とも地域社会のため、お互いに連携・協力していかなければと考えております。

—有難うございました。これからも、ご支援宜しくお願い申し上げます。

自殺予防 いのちの電話


 **0120-738-556**
毎月10日8:00～翌日8:00
【24時間無料です】

こころの痛み、
話せる電話です。



東日本大震災 「いのちの電話」 フリーダイヤル

全国いのちの電話センターで
年中無休で対応しています。
岩手、宮城、福島、茨城の
被災4県から受信します。

 **0120-556-189**
13:00～20:00
【毎日・無料】

これまでの相談件数
15,535件(11/15現在)

香川いのちの電話 「思いつめずにいっしょに話そう」

みみをかたむけなやみゼロ
電話相談 **087-833-7830**
むつんでいばんしみじみ
FAX相談 **087-861-4343**

【毎日24時間】

2012年1月～10月までの相談件数 8,746件
開局以来(10月31日現在)相談件数 278,574件

支援者訪問を 通じて

2012年2月、高松市内にあるクリニックへ「香川いのちの電話後援会」加入のお願いに参りました。その折にクリニックの院長先生から伺ったお話をご紹介します。

「クリニックを開業した当初、通常の診療以外に患者さんをはじめ悩みのある方に対して24時間、電話相談を一人で受けていました。ところが診療以外深夜に及ぶ電話相談は身体に負担が増し、体調を崩して自身が入院することになり、以来、独りでは負担が大き過ぎると、やむを得ず電話相談を休止しました。このような経験から、いのちの電話の相談活動を高く評価している」とのことです。このように私が気付かないところで、いのちの電話の活動にご理解と温かいご支援を下さっていることに感激した次第です。

また、先生は、近年、特に若い人たちが心の病を患いクリニックで受診することが少なくなることに触れ、「もう少し国や社会が若い世代に夢と希望が持てる展望を示さなければならぬ」とも話されました。少し前の時代は、とても貧しく不自由な時代を経験していますが、どの家族も同じ境遇にあったことから貧乏は恥ずかしいこととは思わず一生懸命に働いて頑張れば、将来貧しさから抜け出せるという夢や希望を持つことが出来る時代でした。

しかし今日では物質的には豊かになりましたが「人を思いやる心」を、どこかに置き忘れてしまったような気がします。今、私たちに出来ることは「よき隣人として心に寄り添い支える活動」が大切だと強く思っています。

このことから先生は「心に悩みや不安を抱えた人たちにいのちの電話だけでなく診療所や病院、さらに宗教関係者などが協力して対応していかなければならない」とも話されました。

この度、広報委員として大変貴重な話を聞かせて頂きました。本当にありがとうございます。今後は支援者訪問を通じて、さらに多くの人に「いのちの電話の活動」について、ご理解とご支援を頂けるよう努力していかなければならないと思っています。

(広報委員：今滝)

香川いのちの電話公開講座

「人の話 聞ける人 聞けない人」

講師 **徳永 進氏** (とくなが すずむ)
野の花診療所 院長

日時 2013年2月9日(土) 13:30～
場所 サポートホール高松 3階大ホール
参加費 1000円(当日券1100円)

※手話・要約筆記がつきます



野の花診療所

死を恐れず、希望を大切に
一日一日を生きていくこと
力をそそぎたい

香川いのちの電話協会

第32期 電話相談員を 募集しています



開講 2013年6月

いのちを大切に生きるための
こころの支え手として
あなたもこのボランティア活動に
参加しませんか

定員 20名

【お問合せ】

香川いのちの電話事務局 087-861-7065

宮武則明プロフィール (2006.6より写真提供者)

高松市円座町在住。元讃岐写真作家の会所属。現在「ギャラリーMON」(朝日町)において定期的に作品展を行っている。写真集「讃岐の町並」讃岐写真作家の会著ほか9冊発刊。「香川の歳時記365日」四国新聞に写真提供。現在も活躍中。

発行所 社会福祉法人 香川いのちの電話協会
〒760-8691 高松市中央郵便局 私書箱152号
事務局 電話 (087) 861-7065
発行人 小島克己 編集 広報委員会